

# 平成28年度 笹神中学校グランドデザイン

## 《阿賀野市 教育の重点》

○基本方針  
「子どもの未来を拓く学校教育」

- ・自立…基礎基本を身に付け、自ら課題解決に取り組む
- ・共生…互いの良さに気付き、支え合い、学び合う
- ・信頼…学校を開き、保護者・地域と連携して教育課題を解決する

○小・中学校教育の重点  
児童・生徒一人一人の学びを保障し、  
思考力・判断力・表現力を高める授業改善を行う。

## 《家庭の教育力》

- PTA活動  
(空き缶・空きびん回収、除草作業)
- チャレンジキャンプ、体育祭などの行事への参加
- 部活動への支援
- 家庭学習の習慣化

## 《教育目標》

清くたくましく進んで向上をめざす生徒

## 《学校の経営方針》

協働と参画 「ベクトルを同じに」  
～「職員集団としての教育力」と「家庭や地域の教育力」～

## 《協働》

①職員一人一人が、教育目標・目標・ねらい・「育てたい生徒像」等に向けてのベクトルを同じにし、ひとつのことに全校体制で協力して取り組んでいく。

②職員一人一人のよさを結集することで、総合体としての教育力とする。

《参画》  
地域や保護者の教育力を積極的に出していただき、様々な教育活動に力を発揮していただくとともに、学校は、地域貢献等を通して学校の教育力を向上させる。

## 《学校運営の重点》

- (1) 学習指導の充実
- (2) 学級経営・学年経営の充実
- (3) 心の教育の充実
- (4) 健康な心身の育成
- (5) 特別支援教育の充実
- (6) 地域・保護者と連携した教育活動の展開

## 《学校課題》

- (1) 学力の向上
- (2) よりよい集団づくり

## 《新潟県 学校教育の重点》

- 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進
  - 豊かな心などをはぐくむ教育の推進 (道徳教育の充実)
  - いじめを見逃さない、いじめを許さない意識の醸成 (「いじめ見逃しゼロスクール」の推進)
  - 健康でたくましい心身をはぐくむ教育の充実
  - 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進
  - 郷土愛を軸としたキャリア教育の推進
- 《努力事項》
- ・人権教育・同和教育・グローバル人材育成
  - ・環境教育・防災教育・教育の情報化
  - ・図書館教育・健康教育・食育

## 《地域の教育力》

- チャレンジキャンプへの支援(消防、山の会)
- 学校ボランティア(芸術鑑賞作品の展示など)
- 学校関係者評価
- 学校保健委員会

## 《小中連携》

- 小中連携強調週間  
(部活動体験、出前授業)
- 学習習慣向上期間
- 小中連携研修会
- 三校全体会・実務者会議
- 中学校区訪問研修

## 《知の分野》

- 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する。
- ・授業において、アクティブラーニング(課題発見・解決に向けて、主体的・協働的に学ぶこと)を推進する。
- ・月1回のWebテストを実施、分析することで、生徒の基礎的・基本的学習内容の定着を図る。
- ・毎日のチェック活動などを通じて、家庭学習の習慣化を図る。

## 《徳の分野》

- 豊かな心をはぐくみ、思いやりの気持ちといじめを許さない心の醸成する。
- ・生徒が主体的に活動するよう、すべての教育活動において生徒が前面にでるよう企画・運営を行う。
- ・「挨拶」、「返事」を重点事項として、基本的な生活習慣が身に付くよう指導する。
- ・Q-Uテストを実施し、クラスで望ましい人間関係の形成を図る。
- ・いじめ根絶集会の実施し、いじめをゆるさない集団の育成を図る。
- ・道徳教育推進教師を中心にして道徳の授業の充実を図る。

## 《体の分野》

- 望ましい生活習慣の確立と体力の向上に努める。
- ・パワーアップキャンペーンを実施し、生徒の生活習慣の向上(特にメディアコントロール)を図る。
- ・新体力テストの結果を分析し、体育の授業や部活動などで体力の向上を図る。(検討中)

## 《キャリア教育を基盤とした教育活動の創造》

- 郷土愛
- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力